

中高年女性の肌に「H61株」

乳酸菌の一種で状態改善—つくばで研究

乳酸菌の一種「H61株」には、中高年女性の肌の状態を改善する効果があるとの研究成果を、つくば市の畜産草地研究所がまとめた。すでにヨーグルトなどで製品化が進められている。研究所は11月、研究成果を発表するとともに、H61株ヨーグルトを使った料理の試食会を市内で開く。

11月、成果発表

ほおの肌、水分量増

H61株は1950年代、チーズ作りに使う乳酸菌群の中から見つかった。畜産草地研究所の木元広実・主任研究員が約10年かけて研究に取り組み、肌への効果突き止めた。

きつかけは十数年前、先輩研究者との雑談だった。

酪農の盛んな小美玉市産の生乳を使い、H61株乳酸菌を配合した新しいヨーグ

小美玉生乳で製品化

ルトが発売された。県内の産官学の協力で製品化が実現した。

小美玉市の第三セクター会社「美野里ふるさと食品公社」が、H61株と複数の乳酸菌を配合する製造方法を確立した。

中小企業を支援する「いばらき成長産業振興協議会」がつなぎ役となり、筑波大医学医療系が、女性を

品な味に仕上がる」。そんな話を聞き、興味を持ったという。

老化が早く進むタイプのマウスにH61株を与える実験をしたところ、加齢に伴う脱毛や骨密度の低下を抑える効果があることが判明した。2007年、イギリスの学術誌に実験結果を発表した。

その後、成人女性に1日1回、4週間にわたってH61

株の粉末を摂取してもらった実験をした。50〜60歳の女性は通常、空気が乾燥した冬から春の季節にはお肌の水分が減るが、H61株を摂取したグループでは逆に水分量が増えることが分内て論文発表した。

木元さんは「今後には骨密度の低下を防ぐ効果についても調べたい」と話す。

研究成果の発表と試食会は11月3日、つくば市のエポカルつくばで開催する。無料。9月30日まで希望者を募り、抽選で60人を招待する。問い合わせは、畜産草地研究所029-8338-8612へ。(山本智之)

対象とした血管年齢などへの影響を調べる調査を実施した。来年に結果を発表する予定だ。

パッケージは筑波大生が考案した。郵便の消印のようなデザインで、「食べる人への贈り物」を表現したという。

美野里ふるさと食品公社の直売所やインターネットで発売中。茨城空港の売店や、東京・銀座の県アンテナショップ「茨城マルシェ」でも販売されている。税込み1個158円で、10個セット(1575円)と20個セット(3150円)がある。

畜産草地研究所によると、H61株を使った製品はほかに、飲むタイプのヨーグルトが販売されており、錠剤タイプのサプリメントも年内をめどに発売される予定という。(羽場正浩)



●H61株の研究を続ける木元広実さん—つくば市池の台の畜産草地研究所
●発売されたヨーグルト

